

# 泉大津市仲よし学級環境学習講座

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により延期となっていた第2回目も先日、無事に終了しました。ニュースレターの前号でも報告しましたが、改めて、環境学習講座の報告させていただきます。

7月27日～30日と8月17日に開催した第1回目は、市内8校の仲よし学級で60名の参加がありました。

講座では最初に地球規模や身近な地域における地球温暖化問題に関心を持ってもらうために、環境省が実施している「ガラスの地球を救え！」プロジェクトのDVD「私たちの未来」を視聴しました。DVDでは、児童たちより少し年上にあたる中学生の主人公たちが、夏休みの自由研究で地球温暖化について学習し、人間の活動によって起きた地球温暖化による危機に対して、「未来のために私たちは何を“選択”すべきか？」を問いかける内容でした。少し難しい内容ではありましたが、振り返りをを行った際に児童からは「地球温暖化の原因は（人間の活動による）二酸化炭素が原因」などの発言があり、地球温暖化問題への理解がすすみました。

後半では、DVDを視聴した内容をより深めるため、また、日常生活の中で自分にできる地球温暖化対策について考え、行動する意識を持ってもらうために、「環境すごろく」を行ないました。すごろくは、3～4人を1グループとし、講師および補助員がサポートに入り、それぞれの場面（マス）で理解が深められるようにしました。環境すごろくの内容は、前段のDVDおよび、各家庭で取り組む「省エネチャレンジ」の内容を反映したものとし、地球にやさしいことは「〇マスすすむ」、地球にやさしくないことは「〇マスもどる」と遊びの中で、自らの行動がどのような影響があるのかを感じ取れる内容としました。また、その移動するマス数はCO<sub>2</sub>の排出量などを考慮しました。それぞれのマスに止まったときには、その内容についてみんなに向かっ



環境すごろくを終えての振り返り

て読み上げてもらい、補助員がその内容について補足説明をするようにしました。環境すごろくが終わったあとにも全体での振り返りを行うことで、自らがとるべき行動を考えることにつなげました。

最後に、各家庭で行う「省エネチャレンジ」の内容について説明し、17項目のとりくみから5項目を選択し、開催日翌日から1週間を実施期間とし、42名の児童から提出がありました。

省エネにチャレンジしましょう。

1. 緑のページの家庭でできる取り組み(省エネ)の項の5つを選んでチャレンジしましょう。
2. 緑のページ下の省エネチャレンジ項目の横のマスに番号を記入しましょう。
3. チャレンジする項目の番号の目的に各自に番号を記入しましょう。
4. 実行した項目ごとにチャレンジの記録を記入しましょう。数字を記入します。よくて3日、短いでも2日、多いくらいでも1日、できなかったら0日
5. チャレンジした結果の記録を合計してみましょう。

チャレンジシート 総合計点数  / 105点

チャレンジした項目	チャレンジする日数							総合計点数
	日	日	日	日	日	日	日	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

チャレンジした結果や工夫したこと、気づいたことを書いてみよう。

省エネチャレンジシート

第2回目は126名の参加で、11月8日～12月1日の平日の午後に開催しました。

今回は、授業と同じ45分で実施し、様々な発電体験

をする中で、人の力でエネルギー（電気）を作ることの大変さを実感することで、エネルギー（電気）などを大切に使う「省エネ」の意識を高め、また、使う用途によってかかる電力の違いなども理解してもらうように努めました。



手回し発電と太陽光で競走中

1つ目は、太陽光発電で電車の模型を走らせ、児童が手回し発電で走らせる電車と競走してもらうようにしました。天候や立地がよい学校では、実際の太陽光で発電し、条件が整わない学校では投光器の照明を使用しました。太陽光パネルを日陰にすると電車が止まることや、手回し発電を逆回転させると、電車も逆方向にすすむことも体験してもらいました。

2つ目は、風力発電機を自然の風に見立てた扇風機で回転させ、児童にはうちわを使って発電してもらいました。一定の発電量になると LED ランプが点くしくみになっていますが、さらに電流計を使い数値で見ることができるようにしました。

3つ目は、エレチェンジャーと LED と豆電球の比較を行ないました。エレチェンジャーでは、電気を豆電球、音、動力、熱のそれぞれに使った場合、また、LED と豆電球の手回し発電の感覚の違いについて確認しながら体験してもらいました。

4つ目は、みんなで手回し発電を回し、1つの電球をつける体験をしました。1人ずつ順に増やしていき、何人目で点けることができるか、また、1人でも逆回転させると、どのようになるのかななどを体験しました。

教室に入ってくると、準備されている様々な発電器を見て、「電車が動いてる！」「何あれ？」と興味津々です。今日の講座の主旨を説明して、いざスタートです。手回し発電を回して「太陽光に勝ったで」「もうあかん、腕が疲れてきた」、LED 電気から豆電球に切り替えると「重たい、動かへん」、うちわで風力発電器を扇いで「●●（アンペア）出た！」と子どもたちは歓声と感じ取ったことを声に出していました。

児童たちは、振り返りの中で、自ら発電することで、瞬間的には太陽光や風力発電よりも発電できることはあっても、それを継続することの大変さから、自然の力のすごさを理解し、また、特に LED と豆電球の比較で豆電球を点ける大変さ（消費電力量の違い）について驚きと実感から、電気を大切に使わないといけないことを理解してくれました。



省エネチャレンジ修了証書の授与

最後に、夏休み期間中に行なった「省エネチャレンジ」に対して修了書を授与しました。修了した児童からは、「今も省エネチャレンジのことを続けている」「やってよかった」との発言がありました。

今回の省エネチャレンジの結果は、保護者と一緒に読んでもらえるようにまとめを作成し、配布させていただきました。省エネ活動は家族の協力なしには進みません。これからも家族の中で地球温暖化問題をはじめ省エネや環境問題についても話し合ってもらえればと思います。

このとりくみは(一社)大阪府みどり公社からの委託事業で、(NPO)おづ自然エネルギー市民の会のみなさんと CASA に協力いただきました。

(PARE 事務局 島田 和幸)